

農と食をめぐる、世界が揺れ動いています。食料価格の高騰が津波のように人びとを襲い、その背後では、農業を市場競争に投げ込む自由貿易の広がりの中で、それぞれの地域で、それぞれの風土と経済的社会的条件に合わせて発展してきた農民による農業の崩壊が進んでいます。農民は化学肥料や農薬、遺伝子組み換え種子などを駆使した大規模な工業的農業に駆逐され、農地から、水から引き剥がされているのです。

現実がそうであればあるほど、もう一方で有機農業への評価と期待は高まっています。食料危機の只中の08年4月、国連機関や各国政府、NGO、企業関係者を交えた国際機関「開発のための農業技術評価」(IAASTD)は、小規模農民による有機農業こそが21世紀の社会、経済、環境を守る生産方法であることを世界に宣言しました。

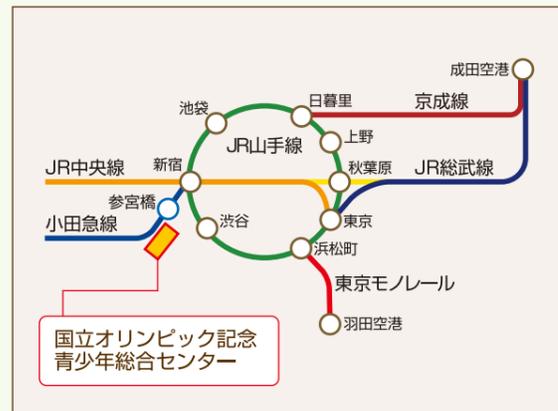
この地球上に生きる人びとには、平和に、尊厳をもって生きる権利があります。人だけではありません。あらゆる生き物は自らの生命を再生産する権利を持っているのです。平和的生存権ともいえるこの権利を具体化したものこそ、有機農業なのです。

私たちは07年11月、多くの皆様のご支援をいただき、初の国際有機農業映画祭2007を開きました。引き続いて今年も、農と食の営みを作り直し、あらゆる生き物が共に平和に生きられる世界になることを願い、「土からの平和」をテーマに、国際有機農業映画祭2008を開催します。



国際有機農業映画祭実行委員会
代表 大野和興

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟：416号室／417号室／309号室



- 東京駅から▶JR中央線 約14分<新宿駅乗り換え> 小田急線 各駅停車「参宮橋駅」下車
- 羽田空港から▶東京モノレール<浜松町駅乗り換え>JR山手線(外回り) <新宿駅乗り換え> 小田急線 各駅停車「参宮橋駅」下車
- 成田空港から▶JR総武線 成田エクスプレス 約80~90分<新宿駅乗り換え> 小田急線 各駅停車「参宮橋駅」下車
- ★ 小田急線 「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- ★ 東京メトロ千代田線 「代々木公園駅」(C02)下車 (代々木公園方面4番出口)徒歩約10分
- ★ 京王バス 新宿駅西口(16番)より/渋谷駅西口(14番)より いずれも「代々木5丁目」下車

■参加費 2,000円 ※事前申し込み制

チケットをご希望の方は、10月20日までに下記のFAX、Eメールのいずれかでお問合せください。代金の振込みをもってお申込みとなり、チケットを郵送します。

▲当日券はございませんので、ご注意ください。 ※チケット提示で再入場自由です。

チケット受付：種子ネット
FAX：046-276-1064 Eメール：info@yuki-eiga.com

■後援 有機農業推進議員連盟 学校法人・アジア学院 NPO法人日本消費者連盟 明治学院大学国際平和研究所 (社)フックサリム(韓国・土を生かす会)

■公式ウェブサイト <http://yuki-eiga.com/> 地域での映画祭開催のご相談を承ります。ご相談ください。

IFOF
International Film Festival on Organic Farming

2008 国際有機農業映画祭

「土からの平和」

2008
11.16

上映作品



この大地に生きています — 三里塚東峰地区の人々 —
(2003年/日本)

いのち耕す人々
(2006年/日本)



ヒト・ウシ・地球 — バイオダイナミック農法の世界 —
(2006年/ニュージーランド)

バイオ燃料 <畑でつくるエネルギー>
(2007年/日本)



オリーブの木がある限り
(2007年/フランス)



遺伝子組み換えNON! — フランスからのメッセージ —
(2004年/フランス)



健康な土 — 過剰施肥のもたらすもの —
(2001年/韓国)



赤貧洗うがとき
(2006年/日本)

土の世界から
(1992年/日本)

フランドン農学校の尾崎さん
(2006年/日本)

アジアの行動するコミュニティ
(2008年/日本・ネパール)

国立オリンピック記念青少年総合センター

2008年11月16日(日)

開場 8:40 開催時間 9:00~21:00

主催：国際有機農業映画祭実行委員会／東京ピースフィルム倶楽部